

静岡県で協業を開始

施設を共同で利用

トナミ運輸 第一貨物 地域内共配も

トナミ運輸（絹貫勝介社長と第二貨物米田総一郎社長）は1日、静岡県で初の協業を開始すると発表した。昨年2月のトナミホールディングス（絹貫勝介社長）とDTホールディングス（武藤幸規社長）の資本業務提携の一環となるもの。

トナミ運輸は第一貨物静岡支店の特積みホームスペース約3千平方メートルのうち約千平方メートルを賃借し、現在の約1・5倍の増床効果を得るほか、旧静岡支店施設の有効利用策を検討していく。第一貨物は施設の共同利用により稼働率の向上を実現する。両社は営業業務情報に関して厳格な情報隔離措置を執り、コンプライアンス遵守を徹底するとしている。

現在トナミ運輸と第一貨物の両社は静岡市駿河区にそれぞれ静岡支店を構え、顧客への配送業務を行っているが、トナミ運輸の施設が老朽化し手狭となっていることから、第一貨物静岡支店の特積み施設に移転・入居し施設を共同利用するとともに、地域内で共同配

送を行い輸配送業務の効率化と自社戦力の稼働率向上を目指す。協業の開始は13日を予定している。

検討していくほか、他の地域においても施設集荷・配送業務に関するITシステム共用化



第一貨物の静岡支店

と運用業務最適化や温室効果ガスの排出量削減、働き方改革などに取組み、企業価値向上やSDGsの実現を目指していく考え。